

鳴門市英語教育構想

CONNECT NARU-TO the FUTURE!

～未来にはばたく 鳴門の子ども～

鳴門への誇りと広い視野をもち あらゆる人と協働して未来を築く
「グローバル」人材の育成をめざして

2023-2027



鳴門市教育委員会

目次	1
I 策定の趣旨	2
II 計画期間	2
III 世界に羽ばたく鳴門の子ども育成プランの成果と課題	3
1 外国語教育の早期化・教科化に向けて	3
2 ALT（外国語指導助手）招致事業	3
3 校種を超えた連携による外国語教育の研究	3
4 各種調査に基づく児童・生徒の実態	4
(1) 外国語学習に対する意識	4
(2) 外国の人とのコミュニケーションに対する意識	5
(3) 外国や英語への興味・関心度	6
(4) 授業の中で好き・楽しいと思うこと	7
(5) 中学校入学前の中学校英語学習に対する意識	8
(6) 中学校3年生の英語力と外部検定試験受験状況	9
5 成果と課題のまとめと今後の方向性	10
IV 鳴門市英語教育構想の内容	11
1 基本理念	11
2 鳴門市英語教育構想の概要	12
3 鳴門市英語教育構想図	13
V 具体的事業の概要	14

I 策定の趣旨

今日、新たな未来社会 Society5.0 の実現に向けて、私たちを取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。また、様々な分野、場面でグローバル化が進み、ヒト・モノ・カネ・情報がより流動性を増しながら国境を越えるなど、世界は加速度的に変化を続けています。この変化の激しい時代の中で、豊かなコミュニケーション力と確かな語学力を身につけ、国際感覚と日本人としての誇りをもちあわせ、さまざまな人と協働しながら新しい時代を切り開くことのできる「グローバル人材」を育成していくことは、きわめて重要な課題です。

鳴門市教育委員会では、平成25年5月に、本市における外国語教育における指針として「世界にはばたく鳴門の子ども育成プラン」を策定し、グローバル人材の育成に取り組んでまいりました。

平成25年度からの10年間で、小学校外国語支援員やALT配置数の拡充、文部科学省の研究開発学校事業の成果をもとにした小学校での外国語教育の早期化・教科化への対応、英語検定料の一部補助など、多岐にわたる事業・取組を進め、「全国比での外国語学習に対する意欲の高さ」や「中学校卒業時の英語力の向上」など成果を挙げてきました。

その一方、プラン策定からの10年間で、新学習指導要領の全面实施、GIGAスクール構想にもとづく1人1台端末の配備と活用、英語教育・日本人の対外発信力の改善に向けたアクションプランの提示、東京都の中学校英語スピーキングテスト導入など、外国語教育を取り巻く環境は大きく変わりました。

令和4年度で平成25年度からの「世界にはばたく鳴門の子ども育成プラン」の集中的な取組期間が終了するにあたり、その取組の成果と課題を踏まえ、外国語教育を取り巻く環境の変化に対応する、今後5年間にわたる本市外国語教育の方向性と取組などの指針を定めるものとして、

鳴門市英語教育構想

「CONNECT NARU-TO the FUTURE! ～未来にはばたく鳴門の子ども～」
を策定します。

II 計画期間

令和5年度から令和9年度まで（5年間）

ただし、社会情勢の変化やニーズ、鳴門市の児童生徒の変化に合わせ、必要に応じて見直しを随時行います。

Ⅲ 世界に羽ばたく鳴門の子ども育成プランの成果と課題

1 外国語教育の早期化・教科化に向けて

本市は全国に先駆けて外国語教育環境の整備を進めてきました。平成23年度には全国各地からの参加者を迎え、「第8回全国小学校英語活動実践研究大会」を開催し、これまでの実践研究の成果を発表しました。また、平成25年度には文部科学省より研究開発学校の指定を受け、鳴門市第二中学校と校区内の林崎小学校、里浦小学校の3校がそれぞれの地域の特性を生かした連携を図りながら実践研究を進めました。研究指定校での新しい教育課程や指導方法などの成果を活用して、学習指導要領の改定に伴う小学校での外国語教育の早期化・教科化への検討を行い、新学習指導要領全面実施への円滑な対応を実現することができました。また、多岐にわたる先進的な取組は、県内だけでなく全国的にも高く評価され、視察を受けるなど他の自治体のモデルにもなりました。

現在、経験豊富な教員が減少し若手教員が増加している中で、これまでの鳴門市の実践研究を継承しつつ、「ICTの活用」「言語活動の充実」「協働的な学びと個別最適な学びへの支援」など、今後も新学習指導要領が求める外国語教育をめざして、鳴門市ならではの実践研究を進めていく必要があります。

2 ALT（外国語指導助手）招致事業

本市では、異なる文化や生の言語にふれる機会を充実させ、国際理解教育や外国語教育を一層推進するために、JETプログラムよりALTを招致してきました。平成3年度にALT1名を配置してから段階的・継続的に増員を進め、平成29年度より8名体制となり、小中学校だけでなく幼稚園や適応指導教室などへの派遣も開始するなど、事業の充実・拡大を図ってきました。令和4年度には、小中学校の授業において、週1回以上TT体制での授業が実施できるようになっています。その成果により、児童生徒のおよそ8割がALTとの授業を楽しみにしているなど、ALTとの授業が外国語に対する意欲の向上にも大きく貢献しています。

しかしながら、ALTの増員には予算が大きく関係し、児童生徒一人一人がALTとやりとりをする時間をさらに確保することに限界が生じています。

3 校種を超えた連携による外国語教育の研究

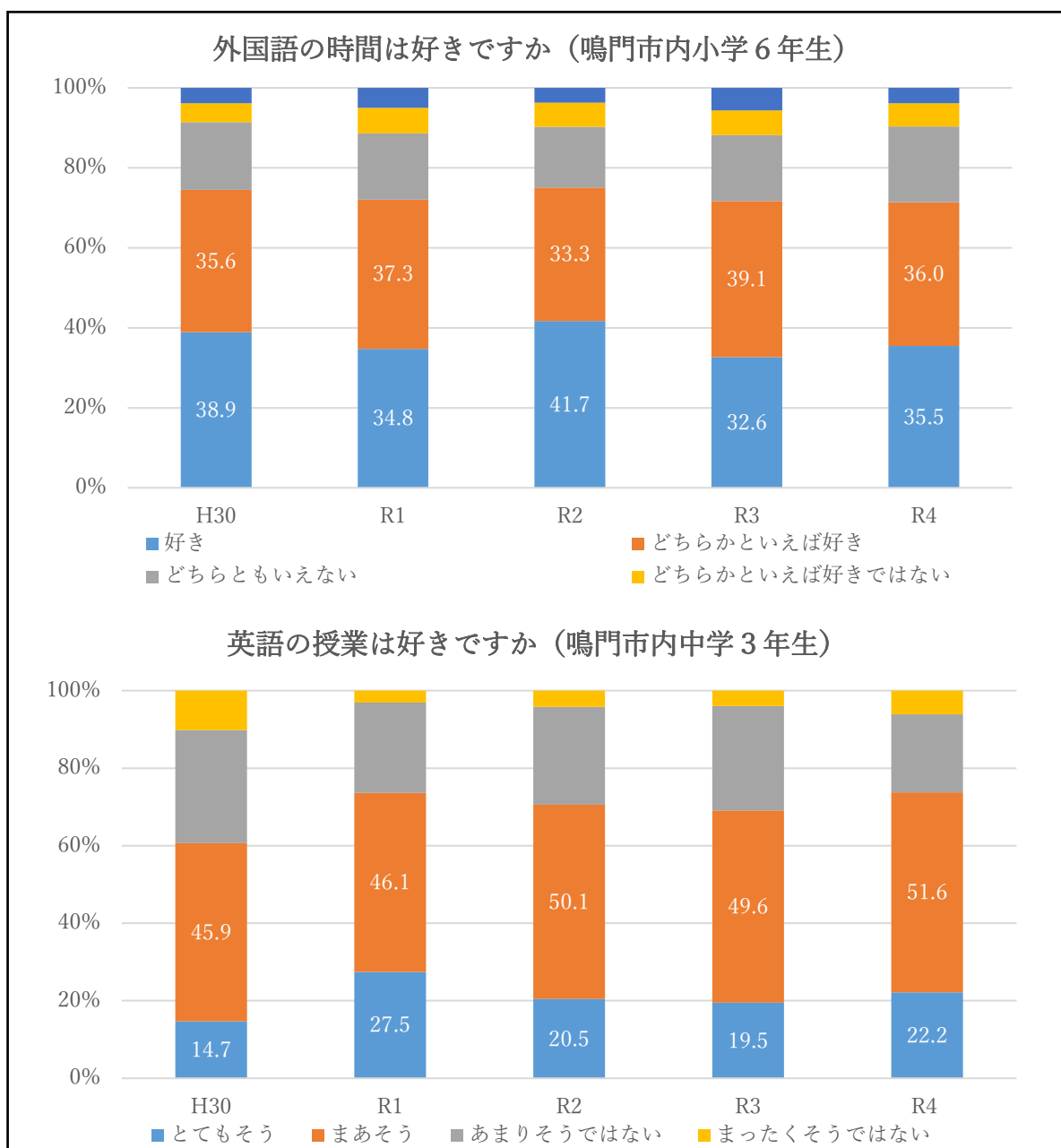
令和3年度の英語教育実施状況調査によると、外国語教育の中で情報交換や交流、小中連携したカリキュラムの作成等の形で小中連携を行っている割合は72.5%となっています。

本市では、外国語教育の早期化・教科化などの外国語教育を取り巻く環境の変化を見据えて、平成21年度から市内小・中・高等学校と鳴門教育大学、教育委員会の関係者による「鳴門市小中高連携外国語教育研究委員会」を設置し、市内全体で校種の垣根を越えて研究・実践を進めてきました。本研究委員会で計画的・継続的に会合を設定していることにより、校種を超えた教員間の距離の縮まりや取組の広がりが見られています。

しかしながら、連絡調整及び時間確保が難しい状況も見られ、負担感を生じさせない持続可能な形での連携を模索する必要があります。

4 各種調査にもとづく児童・生徒の実態

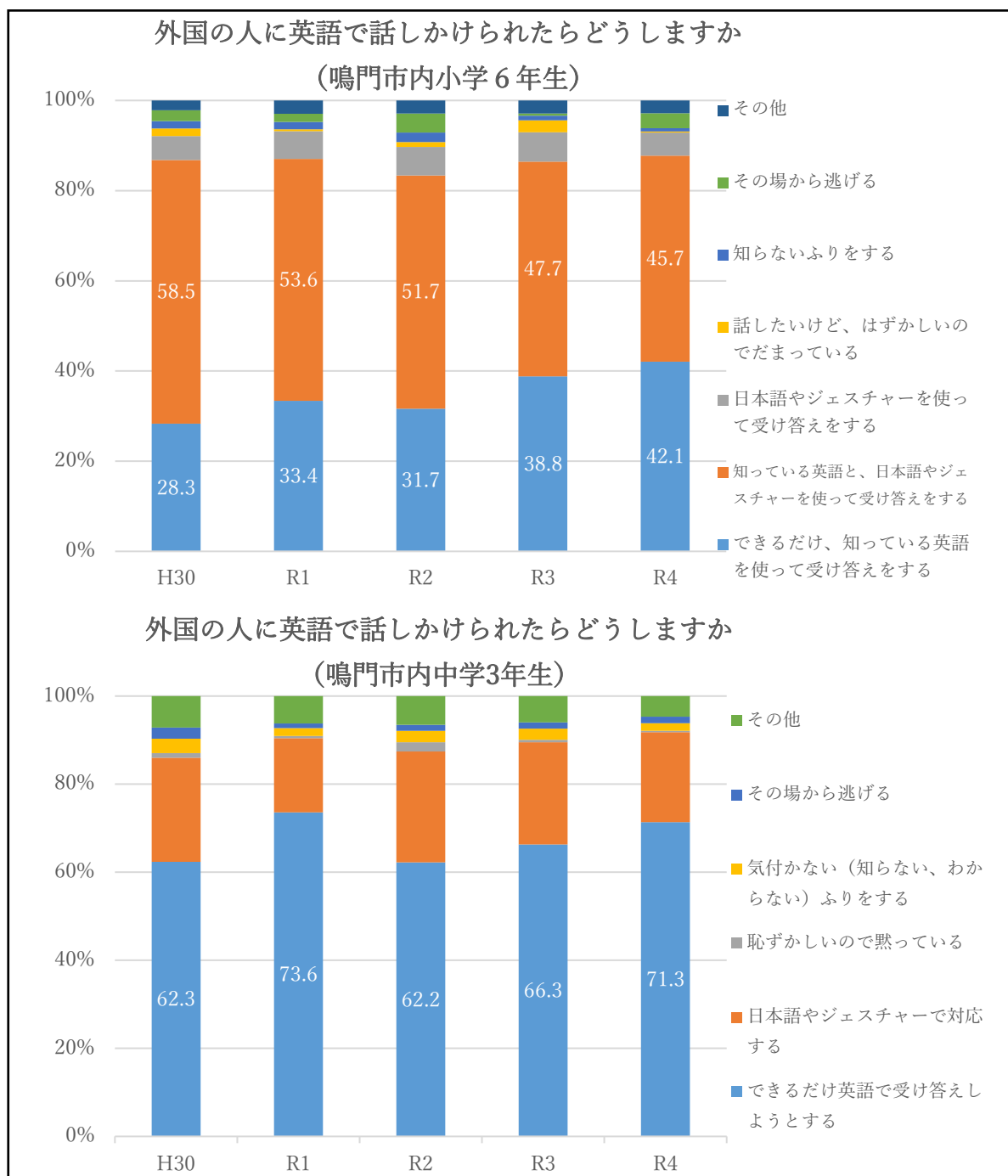
(1) 外国語学習に対する意識



「H25～R4 外国語・英語学習に関する意識調査」

小中学校ともに、達成目標として掲げていた「英語が好きと答える児童生徒の割合が80%」には至りませんでした。が、中学校ではここ5年で10%以上上昇しました。また、全国平均（R3 全国学力・学習状況調査の質問紙の調査結果 小6：68.3%、中3：56.7%）と比較しても、小学6年生、中学3年生ともに全国平均を上回っており、特に中学3年生は全国平均に比べて20%近く高くなっています。

(2) 外国の人とのコミュニケーションに対する意識

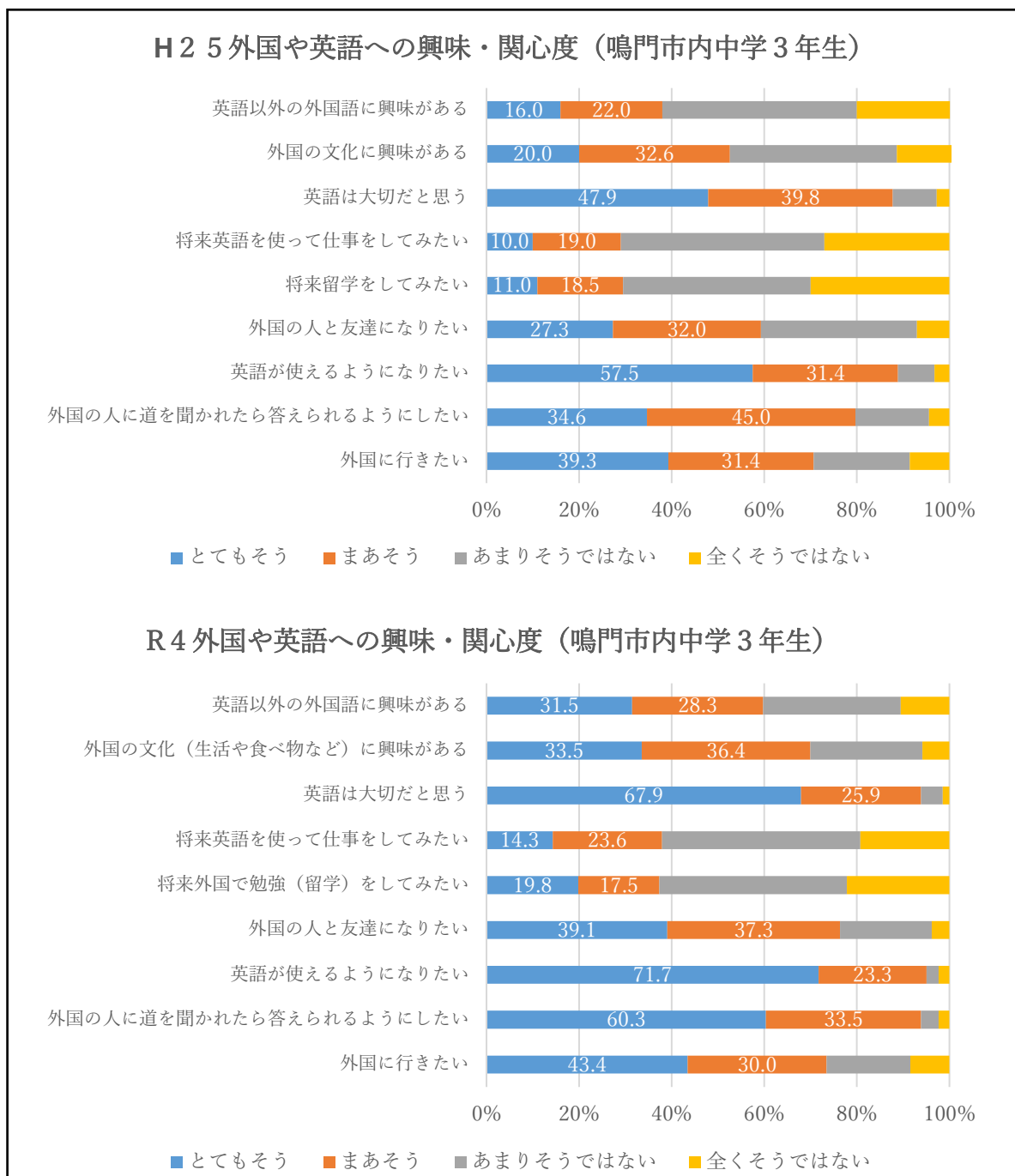


「H25～R4 外国語・英語学習に関する意識調査」

小中学校ともに、達成目標として掲げていた「外国人が話しかけてきたときに英語で受け答えする児童生徒の割合が60%」を達成しました。また、中学校3年生についてはここ5年間で約10%上昇しており、令和4年度には70%以上の生徒が英語で受け答えしようとすると答えていました。

小学校から学習してきた英語表現を活用して、英語でのコミュニケーションを試みようとする意欲がしっかりと育まれていることがうかがえます。

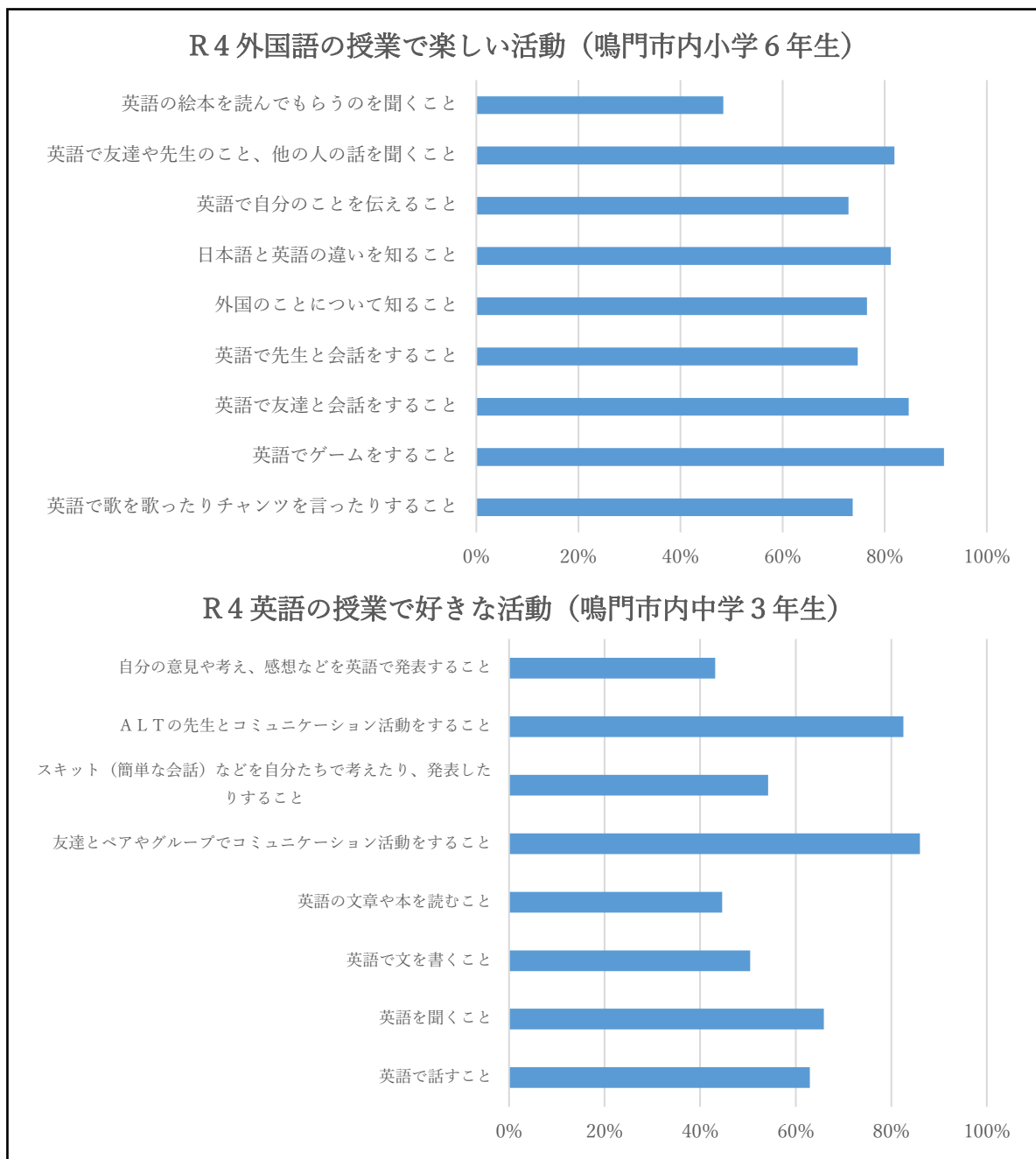
(3) 外国や英語への興味・関心度



「H25～R4 外国語・英語学習に関する意識調査」

10年前と比較して、生徒の外国や英語の興味・関心度が全体的に上昇しています。「英語は大切だと思う」「英語が使えるようになりたい」「外国の人に道を聞かれたら答えられるようにしたい」の項目は90%を超え、10年間で英語習得に対する生徒の意欲が高まってきていることがうかがえます。

(4) 授業の中で好き・楽しいと思うこと

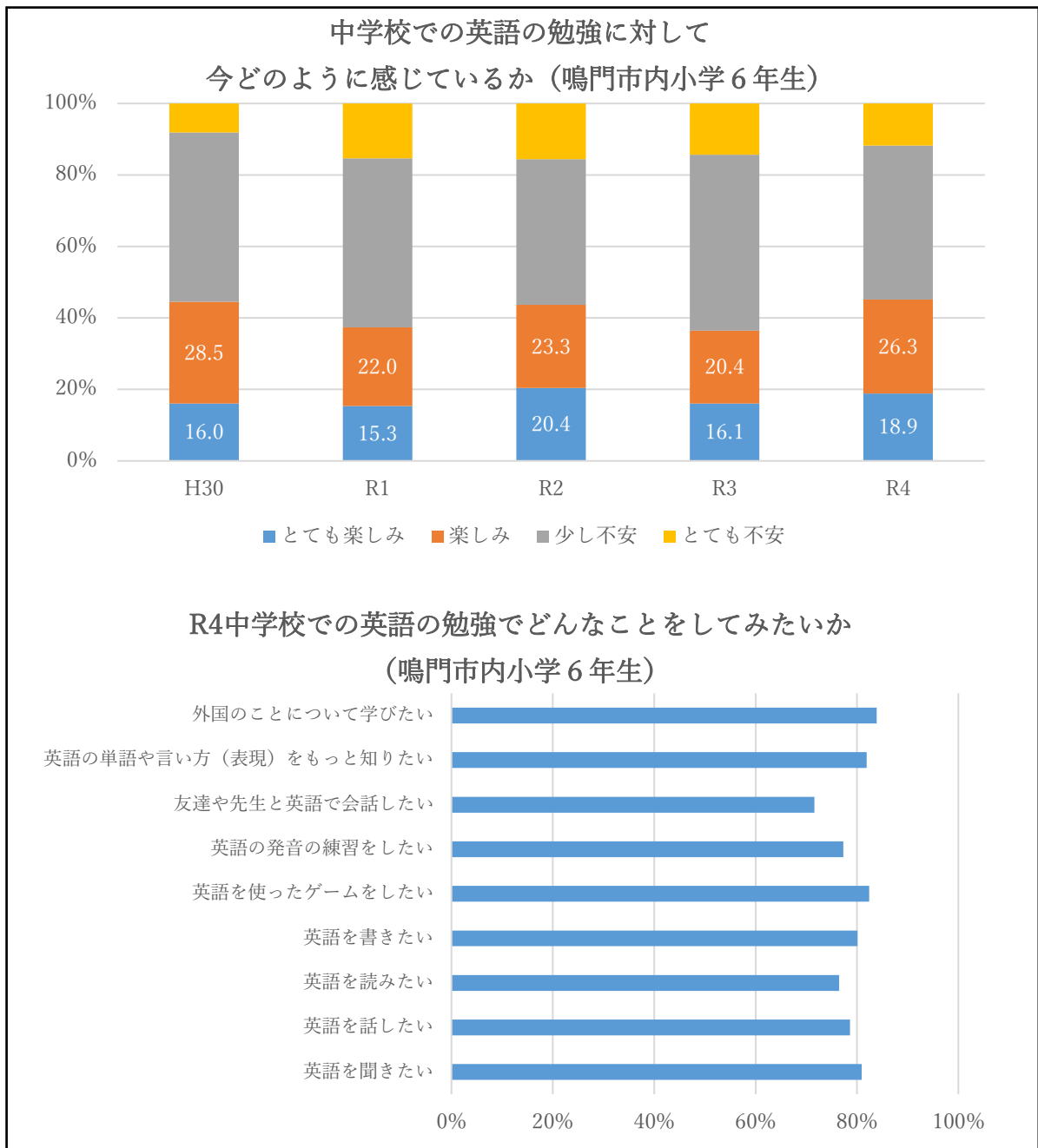


「H25～R4 外国語・英語学習に関する意識調査」

小学校では、英語でのゲームや話を聞いたり会話をしたりするコミュニケーション活動、外国のことについて知ることを楽しんでいる児童が多くなっています。中学校でも小学校と同様に、友達や教師、ALTとのコミュニケーション活動を好む生徒が多くなっています。

しかしながら、小中学校ともに、「英語で自分のことを伝える」「自分の意見や考え、感想などを英語で発表する」が低く、主体的な発信力に課題が見られます。

(5) 中学校入学前の中学校英語学習に対する意識

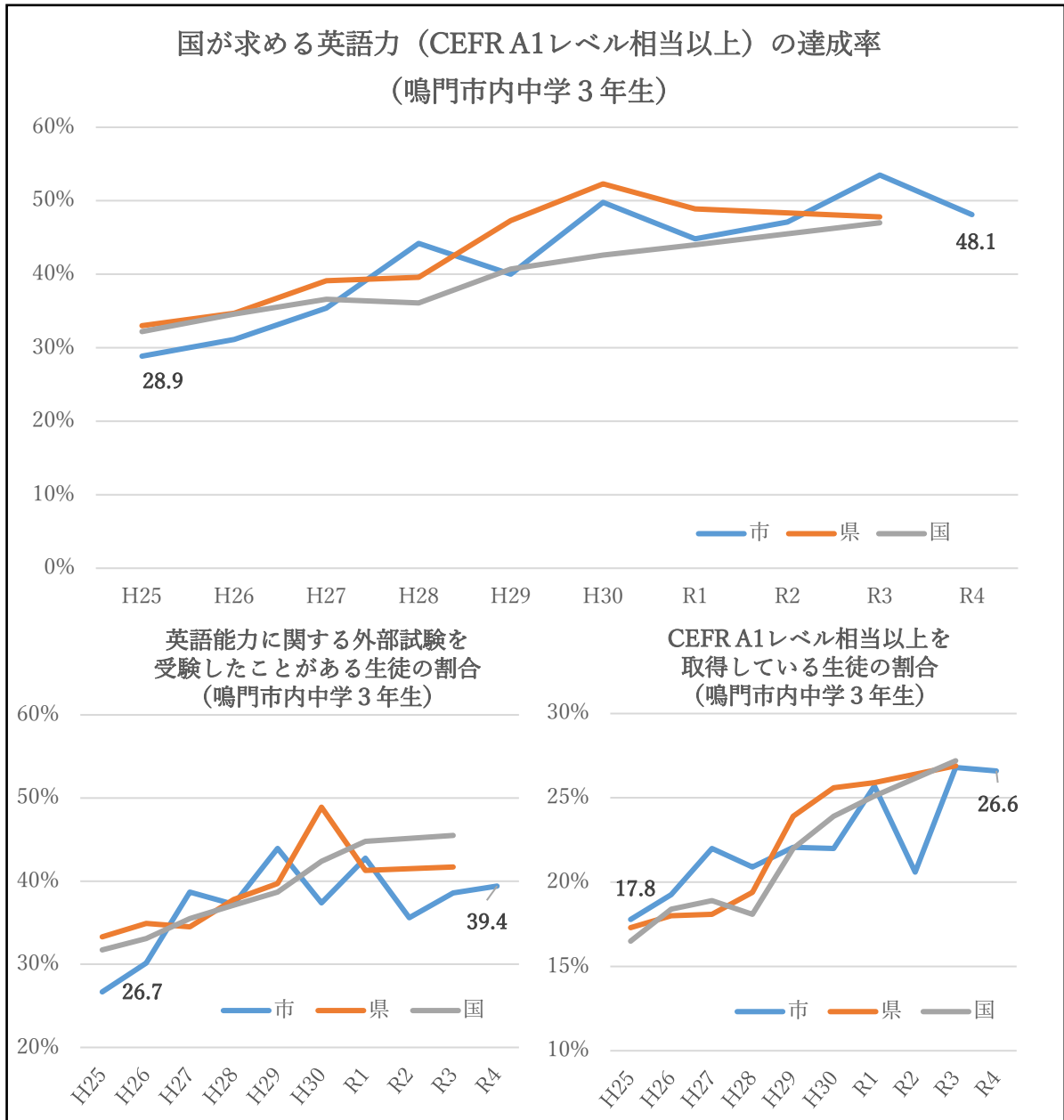


「H25～R4 外国語・英語学習に関する意識調査」

中学校での英語学習に対して、ここ3年は「とても不安」と答える児童については減少傾向にありますが、半数以上の児童が不安感を抱えていることが分かります。

中学校での勉強について、小学校外国語学習で中心であった「話すこと」「聞くこと」だけでなく、「書くこと」への関心が高くなっており、さらなる単語や表現を学習して、英語が使えるようになりたいという意欲がうかがえます。

(6) 中学校3年生の英語力と外部検定試験受験状況



「H25～R4 英語教育実施状況調査」

国が求める英語力の達成率（CEFR A1 レベル以上の外部検定資格試験取得者および CEFR A1 レベル以上相当の英語力を有すると英語科教員が判断した者の割合）は10年間で20%ほど上昇しましたが、達成目標の60%には至りませんでした。

英語能力に関する外部検定試験を受験したことがある生徒の割合は、全国比で低くなっています。そのため、外部検定試験で実際に CEFR A1 レベル相当以上となっている生徒の割合は、英語力を示す全体値の約半分を占めるにとどまり、適正に英語力を把握できるようにしていく必要があります。

5 成果と課題のまとめと今後の方向性

【成果】

- ・ 小学校外国語教育の円滑な導入と実践研究実績
- ・ ALT との T T 授業の充実
- ・ 校種を超えた教員間の距離の縮まりや取組の広がり
- ・ 英語が好きな児童生徒の割合（特に中学 3 年生の割合）の高さ
- ・ 外国の人と英語でのコミュニケーションを試みようとする意欲の高まり
- ・ 英語習得に対する意欲の高まり
- ・ 生徒の英語力の大幅な向上

【課題】

- ・ 若手教員等への実践研究実績の継承
- ・ 新学習指導要領が求める外国語教育への対応
- ・ 児童生徒 1 人あたりの ALT と英語でやりとりする時間の確保
- ・ 負担感を生じさせない持続可能な形での学校間連携
- ・ 児童生徒の英語での主体的な発信力不足
- ・ 小学校 6 年生の中学校での英語学習に対する不安感
- ・ 外部検定試験の受験率の低さ
- ・ 英語力の適正な把握
- ・ 学校、学級間ごとの児童生徒の外国語学習への意識差

【今後の方向性】

英語を用いて考えや気持ちを伝え合う言語活動の充実

児童生徒に英語が好きだという気持ちを抱かせるためには、日々の授業づくりが何よりも大切になります。授業の中心となる「言語活動」をさらに充実させることで、授業が楽しい、英語が好きだという気持ちを育みます。

ICT 活用による指導の充実

「個別最適な学び」を支援していくためには、ICT を効果的に活用していくことが欠かせません。ICT 活用による指導の充実をめざします。また、学校間連携にも ICT を取り入れることで、負担感を生じさせない持続可能な形での学校間連携を進めていきます。

確かな英語力の習得と適正な把握のための外部検定試験の導入

外部検定試験を活用することは、生徒の英語力を適正に把握することだけでなく、英語学習への動機付けを行うことにもつながります。明確な目標をもって英語学習に取り組むことで、英語力の向上も期待されます。

鳴門の魅力を学び、発信する機会づくり

これまでの豊富な実践研究実績を継承しつつ、鳴門の魅力を学び、発信する取組を充実させるなど、鳴門ならではの外国語教育を展開していきます。

IV 鳴門市英語教育構想の内容

1 基本理念

令和5年度から令和9年度までの5年間を見通した本事業の基本理念を次のとおりとします。

基本理念 **CONNECT NARU-TO the FUTURE! ～未来にはばたく 鳴門の子ども～**

めざす子ども像

**鳴門への誇りと広い視野をもち あらゆる人と協働して未来を築く
「グローバル」人材**

文部科学省は「グローバル人材」の概念をまとめるものとして、次の3つの要素を挙げています。

要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ

鳴門市は、グローバル人材である「世界にはばたく鳴門の子ども」の育成をめざして、多岐にわたる事業・取組を進めてきました。

10年間の成果を踏まえ、ふるさと鳴門を誇りに思い、広い視野をもって、世界中のあらゆる人と協働しながら、よりよい未来を主体的に築いていこうとする「グローバル」人材を育成していきます。「グローバル」人材の育成をめざして、Connect(つながる)をテーマとした「グローバル」教育を展開していきます。

「鳴門への誇りと広い視野」とは、恵まれた自然、豊かな歴史と文化、おもてなしの心など、誇るべき鳴門の「かけがえのない財産」に築き、自分たちの育った鳴門を愛する心とともに、異なる文化を理解し受容することができる多様な価値観をもった鳴門人を育てるという思いを表しています。

「あらゆる人と協働して未来を築く」とは、国際社会の中で、臆することなく主体的にコミュニケーションを図ることで相手を理解し、あらゆる人と良好な関係を構築しながら、ともによりよい未来を築いていって欲しいという思いを表しています。

「『グローバル』人材」とは、「Grow(主体的・成長する)」「NARU(鳴門人)」の意味を含む「グローバル人材」のことを表しています。

2 鳴門市英語教育構想の概要

<p>基本理念</p>	<p>CONNECT NARU-TO the FUTURE! ～未来にはばたく 鳴門の子ども～</p>
<p>めざす子ども像</p>	<p>鳴門への誇りと広い視野をもち あらゆる人と協働して未来を築く 「グローバル」人材 <small>※ 『『グローバル』人材』とは、「Grow（主体的・成長する）」「NARU（鳴門人）」の意味を含む「グローバル人材」のことを表しています。</small></p>
<p>グローバル教育 4つの柱と 具体的事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ Plan1 Connect with Schools ～学校がつながる～ 切れ目のない英語教育の実施、小学校外国語支援員の配置 プロジェクト型学校間連携の推進、教員研修の充実 ■ Plan2 Connect with Communities ～地域とつながる～ ふるさと鳴門英語カルタの作成と活用、鳴門教育大学との 連携、We Love Naruto 中学生英語発信コンテストの実施 ■ Plan3 Connect to the World ～世界とつながる～ ALT との TT 授業の充実、オンライン英会話の導入、 イングリッシュ・デイ・キャンプの開催、姉妹都市及び世界 の学校との交流 ■ Plan4 Connect to our Dreams ～夢へとつなげる～ 英語検定受験料全額補助、国際社会で活躍する日本人の講 演会の開催、スピーチコンテストの充実
<p>達成目標</p>	<p>令和9年度までに</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Plan1 英語が好き ⇒ 小6・中3 80%以上 ■ Plan2 英語で鳴門の魅力を伝えられる ⇒ 中3 50%以上 ■ Plan3 英語で話しかけられた際に英語を使おうとする ⇒ 小6・中3 80%以上 ■ Plan4 英検3級取得率 ⇒ 中3卒業時 50%以上
<p>事業評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 英語学習についての意識調査（市独自調査） ■ 全国学力・学習状況調査（国の調査） ■ 英語教育実施状況調査（国の調査） ■ 実用英語技能検定 中3全員受験 ■ 鳴門市英語教育構想推進プロジェクトチームとの意見交換

鳴門市英語教育構想図 “CONNECT NARU-TO the FUTURE!”

3 鳴門市英語教育構想図

GrowNARU Education Plan1 Connect with Schools ～学校がつながる～

- 切れ目のない英語教育
- 小学校外国語支援員
- プロジェクト型学校間連携
- 教員研修



郷土への誇り

豊かな
国際感覚

グローバル
人材

確かな
英語力

鳴門への誇りと
広い視野をもち

あらゆる人と協働して
未来を築く

GrowNARU Education Plan2 Connect with Communities ～地域とつながる～

- ふるさと鳴門英語カルタ
- We Love Naruto中学生英語発信コンテスト
- 鳴門教育大学との連携



GrowNARU Education Plan4 Connect to our Dreams ～夢へつながる～

- 英語検定受験料全額補助
- 国際社会で活躍する日本人の講演
- スピーチコンテスト



コミュニケーション
能力

GrowNARU Education Plan3 Connect to the World ～世界とつながる～

- ALTとのTT授業の充実
- オンライン英会話
- イングリッシュ・デイ・キャンプ
- 姉妹都市および世界の学校との交流



V 具体的事業の内容

GrowNARU Education Plan1

“Connect with Schools” ～学校がつながる～

児童生徒のコミュニケーション能力、英語力を向上させるには、日々の授業を充実させることが何より大切です。

授業充実のために、「教員研修」「支援員派遣」「学校間連携の促進」を行います。

また、幼児期から中学卒業まで切れ目なく段階的に英語教育を行うことで、発達段階毎の学習ギャップをなくします。

■ 切れ目のない英語教育

就学前・小学校低学年・適応指導教室でも英語活動を行い、中学校卒業まで切れ目なく英語教育を行います。

【具体的な取組】

- ・就学前 → 幼稚園・こども園・保育所へ ALT を派遣し英語遊びを実施
- ・小学校低学年 → 年間10時間 HRT と ALT による TT で英語活動を実施
- ・適応指導教室 → 週1回 ALT を派遣し英語活動・学習支援を実施
- ・CAN-DO リストの活用を進める。

■ プロジェクト型学校間連携

小小連携、小中連携学習を展開します。

【具体的な取組】

- ・小中高連携外国語教育研究委員会を組織し、接続を意識した外国語教育の在り方の実践研究を行う。
- ・オンライン上で交流できる環境やクラウド上に教材バンクを整備し、連携をコーディネートしていく。

■ 小学校外国語支援員

小学校に外国語支援員を派遣し、授業を充実させます。

【具体的な取組】

小学校外国語支援員を市内に4名配置し、各小学校へ週1、2回派遣し、授業支援や教材作成などを行う。

■ 教員研修

外国語教育の研修を充実させ、魅力ある授業を行います。

【具体的な取組】

小学校教員および中学校英語教員を対象にして、教育課題やニーズをもとにした夏季教員研修を行う。

“Connect with Communities” ～地域とつながる～

ふるさとを誇りに思う「鳴門人」を育てる上で、本市の恵まれた自然、豊かな歴史と文化、おもてなしの心など、誇るべき鳴門の財産についての学習を進め、鳴門の魅力を再発見していく必要があります。

外国語教育においても、これらの内容に関する教材を作成し、活用を進めたり、鳴門の魅力を発信する活動を行ったりしていきます。

■ ふるさと鳴門英語カルタ

鳴門について英語で学べるカルタの導入・活用を進めます。

【具体的な取組】

鳴門市小中学校外国語部会と連携しながら、英語カルタの原案を考え、活用方法などの検討を進める。

■ We Love Naruto 中学生英語発信コンテスト

鳴門の魅力を英作文や英語俳句で外国の方に発信します。

【具体的な取組】

中学生を対象とした夏休みの課題として「We Love Naruto 中学生英語発信コンテスト」を実施し、鳴門の魅力を英語で伝える記事や俳句作りを行う。入賞者は市内の掲示板などに展示するとともに、英語カルタへの活用も検討する。

■ 鳴門教育大学との連携

鳴門教育大学と連携して授業支援や生徒の英語力向上支援講座を行います。

【具体的な取組】

- ・鳴門教育大学の留学生を小中学校へ派遣し、交流授業等を行う。
- ・小学校外国語学生サポーター（鳴門教育大学の学生ボランティア）を小学校へ派遣し、授業支援を行う。
- ・中学校で英語力アップ対策講座を ALT および中学校英語学生サポーター（鳴門教育大学の学生ボランティア）とともに実施する。

“Connect to the World” ～世界とつながる～

生きた英語力を身につけるには、実際に外国の方たちと英語を使ってコミュニケーションを行う体験が欠かせません。身近な外国人である ALT との TT 授業の充実を図るとともに、ICT 活用を進めることで世界の様々な人とつながりながら学習を進め、生きた英語力を培います。

■ オンライン英会話

オンライン英会話を導入し、「話す力」を向上させます。

【具体的な取組】

中学2年生が年間10回程度（長期休業期間を除く月1回）授業時間内で30分、個別にオンライン英会話学習に取り組む。

■ ALT との TT 授業の充実

小中学校の授業で週に1回以上 ALT と TT 体制をとり、授業を充実させます。

【具体的な取組】

多様な国からの ALT 招致を行い8名体制で各校への配置を行う。

小学校低学年 → 年間10時間 HRT と ALT との TT 授業

小学校中学年 → 年間35時間 HRT と ALT との TT 授業

小学校高学年 → 年間70時間 HRT と ALT との TT 授業

中学校 → 年間35時間 英語教員と ALT との TT 授業

英検対策、スピーチコンテスト対策

■ イングリッシュ・デイ・キャンプ

学校外で多様な文化にふれる機会を設けることで、グローバル感覚を磨きます。

【具体的な取組】

ALT や国際交流員、鳴門教育大学の留学生の協力を得て、外国にいるような英語漬けの機会となるイングリッシュ・デイ・キャンプを行い、異文化への理解や英語を使ったコミュニケーションの楽しさを実感する機会とする。

■ 姉妹都市および世界の学校との交流

海外短期派遣やオンライン交流を通して世界とつながることで、生きた英語の活用力を高めます。

【具体的な取組】

- ・姉妹都市であるリュネブルク市への中学生の短期派遣の機会を設ける。
- ・ICT を活用して、オンライン上で世界中の学校との交流を促進する。

“Connect to our Dreams” ～夢へとつなげる～

子どもたちの抱く「夢」を広げ、サポートしていくことこそ、鳴門の未来をつむぐことに他なりません。子どもたちの夢につながるチャレンジをサポートするとともに、夢を実現させ世界で活躍する大人の姿から、夢実現のための学習へのモチベーション向上に努めます。

■ 英語検定受験料全額補助

英検受験に要する費用を全額補助することで、英検の取得促進を行います。中3時には全員受験を実施し、英検3級取得をめざします。

【具体的な取組】

- ・ 中学校卒業時に3級以上の取得を目標として、受験希望者の英検にかかる費用を全額補助する。
- ・ 中学3年生は第2回英検の全員受験を行い、3級以上の取得をめざす。
- ・ 英検対策としてタブレット教材を活用したり、希望者へALTによる面接練習を行ったりして、合格をサポートする。
- ・ 英検の結果を日々の授業に還元したり、鳴門市英語教育構想の評価に活用したりしながら、英語教育の充実を図る。

■ 国際社会で活躍する日本人の講演

国際的に活躍する先輩から、夢を叶える方法を教わります。

【具体的な取組】

徳島県出身で国際的に活躍する方を講師として招き、小中学校で講演会および交流会などを行う。

■ スピーチコンテスト

英語力の表現の場であるスピーチコンテストを充実させます。

【具体的な取組】

- ・ ALTによるスピーチコンテストへの指導体制を充実させる。
- ・ 中学校英語部会と連携し、スピーチコンテストへの参加賞を充実させることでモチベーションアップにつなげる。

鳴門市英語教育構想
CONNECT NARU-TO the FUTURE!
～未来にはばたく 鳴門の子ども～

令和5年4月 発行

鳴門市教育委員会 教育支援室

表紙のイラストは本市ALTの Thomas Watkins がデザインしました